



空き家等の自治公民館利用

盛岡市では、町内会等が空き家等を借り上げ、自治公民館として活用する場合に、賃借料の一部に対し、補助金を交付しています。



詳しくは、市民協働推進課 地域活動係（626-7500）までお問い合わせください。

（補助対象となる建築物）

1. 現に居住等がなされていない一戸建て住宅またはテナントビルの一室。
2. 町内会等の集会または集会の準備等に使用するもの。
3. 賃貸借契約を締結しているもの。

（補助率及び補助額）

補助率：対象経費の2分の1（千円未満切捨て）
 限度額：1月につき5,000円
 対象期間：60月以内

町内会等で空き家等の情報を持っていない場合は、市で持っている情報を提供できる場合がございます。



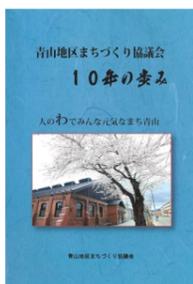
【青山地区】 まちづくり協議会10年の歩み 発行

青山地区まちづくり協議会（遠藤政幸会長）は、令和3年5月に、「青山地区まちづくり協議会10年の歩み」を発行しました。

同協議会は、平成23年11月に発足して以降、盛岡ふれあい覆馬場プラザ（市青山2丁目6-8）を拠点に、地域内の町内会・自治会、市民団体、事業者、消防団、PTAなど、地域内にある多様な主体が連携して、まちづくりの活動を行っています。

本冊子では、同協議会が目指す青山地区の将来像や、これまで取り組んできた事業の様子などが紹介されています。

なお、本冊子は、市立図書館（都南図書館・渋民図書館）及び県立図書館で閲覧が可能です。

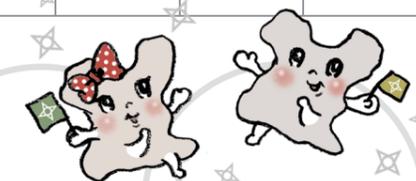


回																			
覧																			

つながるわ

Vol.80

わ



発行：盛岡市市民協働推進課

〒020-8530 盛岡市内丸12-2

TEL：019-626-7535（直通）

E-mail：kyodo@city.morioka.iwate.jp

（令和3年10月発行）

※地域協働かわらばん「つながるわ」は令和3年度から偶数月発行となりました。



コロナ禍で災害に備える

【防災出前講座～湯沢地区婦人防火クラブ】

9月28日（火）、上湯沢自治公民館において湯沢地区婦人防火クラブ（熊谷由美会長）主催の防災講座が開催されました。

この講座は、もりおか女性センターが行う「防災出前講座」を活用して行われたものです。同センターでは、男女共同参画視点で、誰もが安心・安全に暮らせる避難所運営などを学べる「地域防災講座」や「出前講座」などを行っています。

当日は、感染症対策を行ったうえで、婦人防火クラブのメンバー約15人が参加。「今、考えよう！災害時、あなたの地域で命と健康を守るために」と題し、大規模災害時の被災の実態や性別で異なる困難などの講義や、携帯トイレの使い方の実技を行いました。

講師（同センター職員）の森藤さんは、講座参加者に対して「コロナ禍で以前のような地域防災活動が難しい現状ですが、大規模災害は毎年全国各地で発生しています。過去の災害時には女性や高齢者、障がい者など多様なニーズに配慮した対応が十分でなかったとの報告があります。平時から、様々な事態を想定することが必要です。」と地域で防災を学ぶ重要性を伝えていました。

同センターでは、町内会や自主防災組織、市民グループ等を対象に、防災出前講座を実施しています。費用は無料。会場は各地域の集会所や公民館のほか、オンラインでも実施しています。

防災出前講座の申し込み・お問い合わせ先は
もりおか女性センターまで（☎604-3303）

イベント掲示板

「相撲健康体操」講座 なんぶりゆうすもうぶしかたりべきようかい（主催：南部流角力節語り部協会）

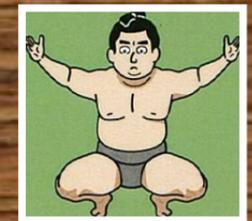
【日程】	回	日時
① 令和3年	①	10月19日（火）
	②	11月16日（火）
	③	12月21日（火）
④ 令和4年	④	1月18日（火）
	⑤	2月15日（火）
	⑥	3月15日（火）

13時～14時30分
（全日程共通）

【定員】各20名（先着順）
 【会場】三崑亭（市鉦屋町9-35）
 【参加費】800円／1回
 【持ち物】運動着、上履き
 【問合せ】南部流角力節語り部協会
 会長 高橋 多美雄
 TEL 090-2604-9290

「相撲健康体操」は、道具を使わず、年齢・性別問わずにできる健康体操です。筋肉の緊張をほぐし血行をよくしたり、疲労回復、ストレス解消、基礎体力向上などに効果があるとされています。

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。
※ 流行状況によっては、中止となる場合がありますのでご了承ください。



会場となる「三崑亭」は「盛岡市市民協働推進基金」を活用して実施した市民協働推進事業（まちづくり施設整備事業）により、平成25年度に整備された施設です。本講座は、上記事業により整備された施設の活用促進を目的とする、令和3年度市民協働推進事業（施設等活用事業）の一環で開催するものです。詳しくは、盛岡市公式HPをご覧ください。
（広報ID：1022493）



多様な視点でこれからの地域防災を考えよう！

東日本大震災から10年、その間にも日本各地で台風や豪雨による水害など大きな災害が発生しました。災害はいつ、どこで起こるか分かりません。災害が起きた時、私たちはどう行動すれば良いのか、地域防災について多様な視点で考えてみませんか？

災害対応力を強める多様な視点での防災

災害が起きたとき、性別や年齢、障がいの有無などで必要な支援・配慮は異なります。日頃から様々な立場の人に配慮し、ともに助け合うという意識が特に重要です。

自主防災組織で必要なこと

- ❖ 男性だけでなく女性や子ども、若者など多様な方が参加できる雰囲気づくりが大切です。様々な意見を取り入れるため男女両方のリーダーを選ぶなどの工夫をしてみましょう。
- ❖ 防災活動の負担が男性に集中していませんか？性別にとらわれないで能力を発揮できる組織づくりが災害に強い地域づくりに必要です。



防災訓練で必要なこと

- ❖ 多くの人に参加できるよう、平日昼間、夜間、休日など多様な時間帯で実施してみましょう。
- ❖ 女性や子ども、高齢者、障がい者など多様なニーズに配慮した訓練をしましょう。
- ❖ 機器操作は男性、炊き出しは女性など、性別で決めずに、話し合いで役割を分担しましょう。



避難所で必要なこと

- ❖ 男女両方の運営責任者を配置し、多様な人が関わる運営を行きましょう。
- ❖ 女性用品（女性用下着や生理用品など）の配布は女性が行うなど配慮を行きましょう。
- ❖ 支援機関や相談機関の情報は避難者のニーズに合わせて整理し、お知らせしましょう。



地域防災の
頼れるパートナー

BOUSAIネット盛岡



講座の様子

BOUSAIネット盛岡（石黒直美代表）は、もりおか女性センターで開催した防災講座の修了生で立ち上げた市民団体です。男女共同参画視点の防災についての学習と実践を目的に活動しており、コロナ禍以前には「各家庭に合った逃げ方」をテーマに講座を開催し、市民のみなさんと準備や避難の仕方を考えました。令和3年度は、メンバー内で実際に危険なポイントを確認しながら自宅から避難場所まで歩く「防災散歩」を行いました。

また、もりおか女性センターの講座で寸劇を演じるなどのサポートも行っており、地域防災の重要性についての啓発活動に取り組んでいます。同センターで開催する、防災講座のサポーターもしています。

このページについては盛岡市男女共同参画推進室（☎626-7525）までお問い合わせください。

コロナに負けない つながる地域活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域におけるさまざまな集まりや活動も、中止や延期、規模縮小などをせざるを得ない状況となっており、人とのつながりが希薄になることが心配されています。そこで、感染を予防しながら、地域のつながりを絶やさないため、地域で行われている取組の事例を紹介し、各事例に関するお問い合わせは、市民協働推進課まで。



子供たちのために、休日に行事をやりたいけれど、大丈夫？

最近、会えない人が多いけれど、近所のあの人は元気かしら？

道端や公園の雑草が伸びてきて、景観が悪くなってきてるな。

みんな、どうやっているんだろう？

敬老の日に「手紙」で交流

子供たちは、夏休みを利用して一人につき数枚の手紙を書き、それを子ども会の世話人が集め、自治会の婦人部・役員の方々が仲介して、敬老の日に地域の75歳以上の方に手渡されます。手紙には、子供たちが今現在興味を持っていることや、頑張っていることなどが書かれ、中には絵を描いて贈る子も。今年は、コロナの早期収束を祈念して、神社で祈祷したお守りも添えられました。

贈られる方々は、どんな子から手紙が来るか、どんなことが書かれているか、とても楽しみにしているそうです。



【北山自治会】

「もちつき会」を「焼きいも会」に

毎年、正月行事として行っていた「もちつき会」を、感染症対策に不安があったため、中止することに。代わりに、秋に「焼きいも会」を実施することにしました。館内清掃を兼ねて落ち葉を掃き、集まった葉を利用して芋を焼きます。焼きあがるまでは、親子レクの時間です。そして、焼きあがった芋は、親子で楽しく食べます。

季節を感じられる行事や食を通じた交流は、子どもたちにとって大きな楽しみの一つなので、何らかの形で体験ができる機会を作って、思い出作りをしてあげたいです。



【加賀野地区福祉推進会】

回数を増やして、健康体操を再開

以前は、一度に、一か所に集まって健康体操をしていましたが、会場を広い場所に変更し、一度に集まる人数を減らし、回数を増やして行うようにしました。十分に換気された会場で、お互いの距離を開けて体操をしています。

体操を中止した時期もありましたが、みんなで運動できる機会があることを、参加者の方からは喜んでいただいています。定期的に運動する機会を持つことは、心身の健康を保つことにつながると思います。



【繫地区民生児童委員協議会】

各戸で行う美化活動

これまでは、集会所・集合時間をお知らせして、みんなで集まって清掃活動を行っていましたが、今年は、一同に会わず、各戸で清掃や草刈りを行うことに。公園清掃についても、密集しないように、担当エリアを決めて、分かれて活動を行いました。

また、マスクを着けて活動する人もいることから、ペットボトルのお茶を配り、熱中症に気を付けるよう注意喚起を行いました。



感染症対策をしても、100%安全ということは難しいです。感染症に強い不安を持つ方に対しては、何に不安を感じているか具体的に聞くとともに、参加者が気を付けること、運営者が気を付けていることを説明し、理解いただいたうえで、気持ちよく活動を行うことが望ましいです。